

港の総合学習支援を行いました

6月16日（金）に小松市立荒屋小学校の生徒（25名）を対象に港の総合学習支援を行いました。

港の総合学習は、金沢港を実際に訪れてもらい、日頃体験できない海上からの「みなと」見学や、座学を通じて「みなと」が私たちの暮らしの中で果たしている役割や毎日の生活との繋がり、また、港湾整備の重要性を理解していただくことを目的に行っております。

当日は港湾業務艇「わかなⅡ」に乗船しての港内見学と「みなと」の役割や施設の重要性に関する座学を行い、「みなと」をより身近に感じていただきました。

港内見学では、防波堤の外に出ることで防波堤の内と外における船の揺れの違いを体感してもらい、防波堤の効果について学んでもらいました。

また、今回は地元マスコミ（テレビ局1社、新聞社3社）からの取材も行われ、記者からのインタビューで「防波堤の役割がすごいことが分かった」、「波を小さくすることがすごい」など感想を述べる生徒がいるなど、「みなと」の役割の重要性についてより理解してもらえたと感じました。



船内の様子



座学で発言する生徒の様子



ガントリークレーンを見上げる様子



集合写真